



しのざき えいいち
篠崎 栄一 さん(海老ヶ島)

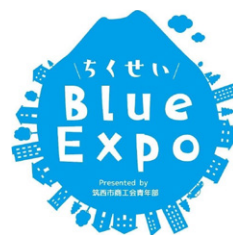
イベント名の由来は、青年部のイメージカラーである青や、青春から名付けたそうです。

筑西を BlueExpo 盛り上げたい

イベントを始めたのは、新型コロナウィルスがきっかけだそうです。「飲食店をはじめ、経営に苦しむ会員や地域の人たちにとって明るい話

2月2日、筑西市商工会青年部主催で食と企業の祭典「ちくせい BlueExpo」が開催されます。今回で4回目を迎え、5000人超の来場者が訪れる大人気イベントとなっています。そんなちくせい BlueExpo を始めたきっかけや思いについて、実行委員長の武井豊さんと、筑西市商工会青年部部長の尾見喜信さんに話を聞きました。

食べて遊んで学べる祭典 ちくせい Blue Expo



左から尾見部長、武井実行委員長

題になればと企画しました。初開催時は新型コロナウィルス流行真っ只中だったので、入退場のチェックや消毒をお願いするなど、徹底した感染対策を行いながらの開催はとても大変でした」と尾見さんは当時を振り返ります。また、開催をとおして会員同士の絆を深めたいという思いもあったそうで、現在も筑西市商工会青年部員36人の多種多様な知識や技術を活かして作り上げているそうです。

イベントの目玉は、毎回開催されている鍋1グランプリ。地域の農産物を使用した鍋料理の食べ比べを楽しめます。武井さんは「イベントで人を呼び込むには食の要素が必要不可欠。地産地消に繋がようと、出店者には地域の食材を使う条件を設定しています。おいしいお店が揃っているの、ぜひ食べてもらいたいです」と話してくれました。

楽しむだけでなく 学びに繋がるイベントへ

青年部員の職業を活かしたワークショップも大人気で、なんと重機運転や塗装体験、ミニ畳製作などができるそうです。ほかに会場を盛り上げるステージ発表やスポーツ教室、消火体験、防災体験車両の設置など、企画も盛り沢山。「今回は、新たに乳がん啓発のピンクリボンブースや、障がいのある人に向けての就労支援ブースを設置します。障がいの有無に関わらず、多くの人が楽しみながらも幅広い学びに繋がるイベントにしていけたら」と話す武井さん。

最後に、二人から今年の開催に向けてメッセージをいただきました。「今回は熱気球や豆まき体験などを加え、昨年よりさらにパワーアップしています。子どもから大人まで、三世代が一日中楽し



今回は鍋1グランプリに8店舗が出店。重機でのヨーヨー釣り体験ができるワークショップや、市サッカー協会によるサッカー教室も好評。

取材を終えて

地域を盛り上げたいという熱意に満ち溢れている若い二人の姿を見て、とても頼もしさを感じました。みなさんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

【4月23日 BlueExpo】

▼日時 2月2日(日) 午前9時30分～午後3時30分

▼場所 明野コミュニティセンター中央広場

※詳しくはこちら

